

日本造園学会  
東日本大震災復興支援調査委員会  
幹事会調査項目

1. 調査概況

調査目的：①東日本大震災復興支援に関する日本造園学会東北支部との支援・協力体制の確認  
②仙台市周辺市町村の復興支援について情報収集・意見交換  
③緊急調査対象地域以外（福島県域）への支援への情報収集

調査スタッフ：宮城俊作幹事長、根本哲夫企画委員、篠沢健太副幹事

調査日程：2011年5月1日（日）～5月3日（火）

2. 調査結果：

2011年5月1日（日）

・仙台市役所 嶋倉正明さん（嶋倉風景研究所）と合流、同行いただき情報提供を受ける。

1. 仙台市六郷小学校

根本暁生さん、高橋悦子さん（NPO法人冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク）

- ・コーディネータの役割の重要性、NPOの人材と雇用問題
- ・「何が欲しいか」…工夫しており何もいらない→異なる視点や意見が欲しい。
- ・「象徴」としての海岸公園のあり方…子供の活動再開こそが「象徴」
- ・ 海岸公園の母体、小午沼の起源

2. 仙台東部道路～海岸公園冒険遊び場

3. 海岸公園冒険遊び場

4. 荒浜～井土～名取川下流～海岸公園運動施設ガレキ集積所

5. 仙台中央公園（宮城県港湾局）



1961年の海岸沿い松林と小午沼（現在の海岸公園）（国土変遷アーカイブより） 嶋倉正明さん（右）



海岸公園から貞山堀を眺める（南）

2011年5月2日(月)

## 1. 女川視察

## 2. 石巻市役所ヒアリング

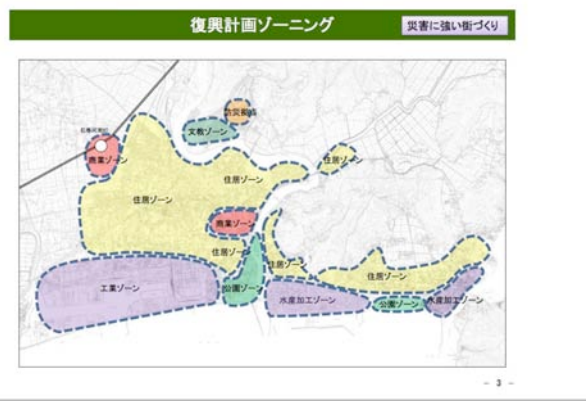
後藤寛技術主幹(石巻市建設部都市計画課都市計画グループ)

相原晴彦主査(石巻市建設部都市計画課都市計画グループ)

### 2.1 石巻市内の被災状況

### 2.2 石巻復興計画ゾーニング

- ① 南浜地区を非居住地に...元1種住居被害大、北上川左右岸堤防の補修も一体で行う  
→震災復興のシンボルゾーン<公園>として整備
- ② 複数列の堤防建設、工業地域をより内陸側に拡幅
- ③ 半島部漁村は小規模な高台居住へ
- ④ 自然エネルギー利用、⑤LRT導入、⑥幼老共存



左：石巻市ヒアリング、右：石巻市復興計画ゾーニング

石巻市復興復興推進本部「石巻市の都市基盤復興に向けて」『復興計画ゾーニング』

## 3. 東松山市役所ヒアリング

阿部秀保東松山市長(復興緊急対策室)

小野弘行総務部長(復興緊急対策室)

森山雅幸先生(宮城大学食産業学部環境システム学科LD研究室)

### 3.1 東松山市の被災状況

### 3.2 復旧状況

### 3.3 復旧から復興へ

- ・東松島市は津波未経験だったが、宮城県沖地震、H15(2003)「北部連続地震」の被災経験が生きている(北部地震震源は東松山市の直下、震源深さは-10km、局所激甚災害指定を受けた)
- ・仮設住宅、前回(宮城?)150戸建設に苦労したが、今回1500戸。インフラ(電気水道)先行。

### 3.4 「集落移転」の経験値

- ① 「集落移転」をすでに経験済。自衛隊滑走路騒音による集落移転→大曲集落西、成瀬川東
- ② 「集落移転」希望の意思決定。年間地域総会のシーズンで移転希望の決を取ることができた
- ・移転希望集落：大曲(定川右岸破堤箇所)、立沼(中央部)、浜市(鳴瀬川左岸破堤箇所)
- ・半島部：室浜、大浜、月浜の3集落は高台移転を希望(縄文遺跡のある里浜は定住希望)
- ・区画整理で移転集落を受け入れ可能と表明したまち2箇所、組合でなく公共施行で迅速に行う

### 3.5 野蒜地区「激甚災害法」の課題

- ・野蒜地区3集落壊滅。人口多く分散して避難したため、移転合意していない。
- ・教育施設(野蒜小、鳴瀬二中)を移転、再建したいが①激甚災害法では同所建設が基本、②調整区域、農振、文化財等の問題→法特例措置が必要+財源

### 3.6 特別名勝「松島」の再生

### 3.7 生業の回復

- ・ 漁業復興、国・県支援、「協業化」も視野に（個人では1億円のコスト）
- ・ 農業、水田塩害。単に特に水をかぶっただけでなく破堤で2ヶ月漬かっている...ヘドロの問題

### 3.8 里山・川・海の関係



左：東松島市へのヒアリング、右上：航空自衛隊松島基地の位置と滑走路上の移転済集落、本震災で移転を希望する集落、右下：野蒜地区、宮戸島と移転希望集落



## 4. 松島湾視察

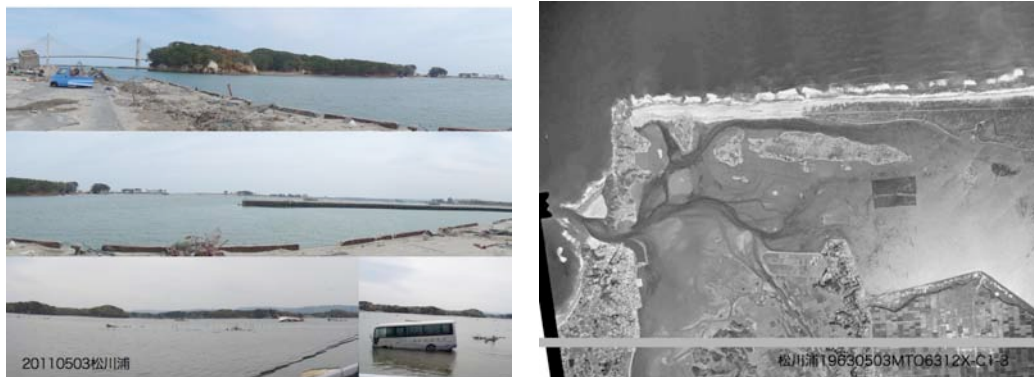
■2011年5月3日（火）

1. 名取市閑上地区視察
2. 岩沼市岩沼海浜公園視察
3. 相馬市松川浦視察

#### 3.1 原釜尾浜海水浴場

#### 3.2 松川浦

- ・ 砂州が湾口を堤防状に仕切る、砂州上は松林になっていた。大洲海岸
- ・ 明治末、水路が人工的に掘削。「海水の出入り口は北側にある1908年（明治41年）1月から1910年（明治43年）にかけて掘削されたわずか巾約80mの水路部分のみであり、太平洋との間の陸地が100m程度の幅しか無い...水路開削以前は砂洲側に河口があったが、潮流の変化や暴風などにより河口が塞がれたり位置がたびたび変わった」「大小の島や岩が点在する風光明媚な風景は小松島とも評され日本百景のひとつに数えられ松川浦県立自然公園にも指定」wiki
- ・ 湾内干潟、潮干狩りのメッカ、養殖
- ・ いちご産地（国道6号、アップルロード、ストロベリーロード）
- ・ 流入する河川流域が飯舘村に含まれる、放射性物質の流域処理？  
小泉川+宇多川、町場川+日下石川



左：福島県相馬市松川浦の現状、右：1963年の松川浦の空中写真（国土変遷アーカイブより）

#### 4. 仙台空港→帰路

#### 3. 復興支援の手がかり：復興にむけたアイデア、可能性

- ・学生ワークショップとの連携
- ・復興支援調査委員会報告書企画（別途資料）

以上